

10月16日(水) 焼き物作り体験

昨日5年生が、総合的な学習の時間に焼き物作り体験を行いました。西浦焼についての学習の一環です。

土粘土を菊練り（粘土の中に混ぜた空気を抜くために練る方法）し、ブロック状に整えた粘土のかたまりを、たたら板とひもを使って、薄い板状に切ります。子どもたちは、西浦焼愛好会の方のアドバイスをいただきながら、各自の考えたお皿を作りました。この後は、愛好家の方がふちふき（乾燥途中の生乾きの皿のふちをぬらした布でふく）、素焼き、本焼き（本焼き後、釉薬をかけ焼く）の工程をさせていただきます。多くの大変な作業があることがとてもよく分かります。

愛好家の皆様、子どもたちに貴重な体験をさせてくださり、ありがとうございます。何度もやり直しをしながら作ったお皿ができあがるのがとても楽しみです。

